

平成 24 年 5 月 25 日

## —学部・研究科紹介—

- ・高度教養教育に基づく専門教育を行う総合科学部と、  
重点的ジェネラリスト養成を目標とした総合科学研究科

● **総合科学部・総合科学研究科とは**

現代社会の抱える諸問題は、個々の学問領域だけでは解決できず、複数の学問領域が協同することによってはじめて解決の方向が見えるものが多数あります。昨年 3 月に起きた東日本大震災と福島第一原発事故では、さまざまな問題が複合的・重層的に現れました。多数の学問領域が協力し、こうした諸問題の解決策のメリットとデメリットを多角的に検討し、最良の解を提案することが求められているのです。そのためには、自らの専門についての深い知識だけでなく、他の学問領域にも精通した学際的な視点をもつ人々の叡智こそが必要です。総合科学部・総合科学研究科は、こうした多角的・俯瞰的に物事をとらえ、問題解決に向けた具体策を複眼的に考えることができる人材を養成するために創設されました。

## 【学部】

- **総合科学部**は、昭和 49 年に、「総合科学」の理想を掲げ、現代社会において強く求められている「総合的知見と思考力」を育むために、他に先駆けて創設された非常にユニークな学部です。以来、多様な専門領域から構成されたスタッフをそろえ、既存の学問的枠組みを超えて、社会の抱える複合的問題に対応できる人材育成の教育に取り組んでいます。

総合科学部は、学際性、総合性、創造性を理念とし、高度教養教育に基づいた専門的教育を行っています。そこでは、地域文化、社会文化、言語文化、人間文化、行動科学、スポーツ科学、自然環境、生命科学、数理情報、物理学などの専門的分野が学べると同時に、文系理系の枠組みを超えて学問の総合性についての幅広い知見が身につくようになっています。

総合科学部卒業生は、総合科学の特色を生かして、一般企業や官公庁はもとより、さらに、企業のシンクタンクやマスコミ関係に就職する学生が多いのも特長です。厳しい社会状況の中で就職率（90%前後）も順調です。

また、学際的な知識をもち問題解決能力をもつ人材育成を強力に推し進めるために、来年度から新しい教育プログラムを開始することに向けて、現在準備中であり、改編後の教育プログラムの詳細については、近いうちに公表を予定しています。

## 【研究科】

- **総合科学研究科**は、総合科学部を基礎に、総合的知見と思考力の涵養に努め、21 世紀の人類社会が直面する複合的課題に取り組み、大学院教育における「総合科学」実践の教育・研究拠点となることを目指して、平成 18 年 4 月に発足

し、7年目を迎えました。この大学院教育では、特に「重点的ジェネラリスト」の養成に努めています。既に修士号と博士号をもった多くの修了生を出しており、また、社会人入学生、海外からの留学生も積極的に受け入れています。特に、博士課程後期（定員20名）には多くの優秀な学生が入学してきていることが特長で、過去4年間で53名の博士学位を輩出しています。

### ●21世紀科学プロジェクト群と3つの部門

「総合科学」は、さまざまな学問領域に支えられ、それらの融合・協同により新たな知を開拓する営みによって成り立っています。本研究科では、「人間科学」、「環境科学」、「文明科学」の3部門ごとに、それぞれの専門領域・専門分野の深化を進めるとともに、21世紀の人類社会が直面する複合的諸問題を克服するための総合的な知見と理解力を育成します。部門横断型の教育・研究を行うために21世紀科学プロジェクト群を設置して、自分の専門領域を超えて他の学問領域とつながり、多角的な視点からの問題発見・問題解決を行うためのプロジェクト研究に活発に取り組んでいます。

### ●文理融合型リサーチマネージャー養成プログラム

文理融合型リサーチマネージャー養成プログラムでは、21世紀の諸問題を解決するためにはどのような研究分野が必要かを理解でき、文系・理系の枠組みを超えて異分野を結びつけるプロジェクトを企画立案・実施する能力を育成します。また、プロジェクトを進めていく上で生じるリスクをも予測し、それに対処できる総合的な判断能力と行動力を有し、豊かな教養と大胆な発想で社会で活躍できる人材を育成します。つまり、現代社会の抱える諸問題を解決していくための共同研究・プロジェクトを効率よく運営するため、さまざまな専門家を統括し、かつその橋渡しをすることのできるマネージャーやチームリーダーとなるべき人材の養成を目指しています。このプログラムは、本研究科が創設された翌年（平成19年）には、文部科学省の組織的な大学院教育改革プログラムに採択され、3年の支援を受けました。その後も2年間、学長裁量経費の支援を受け、現在も研究科の重要な取組として実施しています。

#### ◇プログラムの特色

学際的教育を実践するために設置した「コア科目」と「21世紀科学プロジェクト群」を結びつけて、21世紀の諸問題を解決するためのプロジェクト立案に必要な「リーダーシップとマネジメント能力」を育成しています。コア科目では、異分野の学生参加型グループ討論によって、問題発見・問題解決能力を育成します。また、「リテラシー科目」によって、リサーチマネジメント能力育成のためのリテラシーを強化します。さらに、学生の行う学際研究を支援する学生独自研究プロジェクトを実施しています。

#### 【お問い合わせ先】

広島大学総合科学研究科 運営支援グループ 内藤 TEL:082-424-6306 FAX:082-424-0751
--